



<5月号>

朝三中だより

朝霞市立朝霞第三中学校

令和3年5月6日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1

TEL048(464)7575

FAX048(467)4742

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

交通事故

校長 杉山 巖

気持ちのいい季節になりました。木々の梢には、つやつやとした若葉が萌え始め、暑すぎず、寒すぎず、日差しは柔らかかで、爽やかな風が吹き、どんな活動をするにも、最適に感じる季節です。昼休みの校庭からは、生徒の笑い声や楽しそうな歓声が響き、いかにも普通の中学校の様子が見て取れます。

ただ残念ながら新型コロナウイルスへの対応でどの生徒もマスク姿ですが、その中でもできる限り「**標準**」を目指した学校の教育活動を実施しているところです。

まずは、新型コロナウイルスに対して**やらなければならないことを確実に実行し、感染しない行動、また万が一感染していたとしても感染させない行動**をお願いします。

やらなければいけないことを確実に実行する、決まりや約束を守る、このような話をするときに必ず思い出すことがあります。今から**二十数年前の朝霞三中の修学旅行中の話**です。

当時の生徒が**修学旅行の班別行動中に交通事故**にあいました。京都金閣寺周辺を歩いていた班に、自動車と接触した大型バイクが転倒し、そのバイクが生徒に向かって滑って流れてきて、生徒が被害にあったというものです。当初、宿舎で連絡を受けたときは、「男女6人の班に事故を起こした大型バイクが飛んできて、女の子が血を流して倒れています。今、救急車を呼んだところですよ。」そんな連絡でした。

病院に駆けつけると、**結果は幸いにも**、誰もバイクには接触しておらず、女子1名が驚いてよけた拍子に転んで鼻血を出しただけですみました。これだけですんだ大きな要因は、その班が6人とも**ちゃんと歩道を歩いていた**ことだったと思います。その道路は、ガードレールはありませんでしたが、歩道は車道より20センチぐらい高いつくりになっていました。なので、かなりのスピードでバイクが流れて来たようですが、歩道の段差にぶつかり速度が落ち、歩道に乗り上げるまでに少しだけ時間があり、その間に事故を避けることができたようです。もし、ふざけて歩道から出て横一列で行動していたら、車道にいた生徒は巻き込まれていたかもしれません。交通事故の話をする機会があるときには**「歩道を歩く」といった正しく行動することが、身を守ることに繋がった**とこの話をしてきました。

すべてが当てはまるとは限りませんが、決まりや約束を守ると言うことは大事なことだと思います。最近では、決まりや約束を守ることを「かっこ悪い」とか、決まりや約束に従わず人と違った行動や様相をすることを「かっこいい」とする風潮はあまり見られなくなりましたが、それでも人と違うことがしてみたいと思う人も中にはいるでしょう。しかし、それぞれの決まりや約束は、いろいろな場面や状況を想定して作られています。意味も無く存在するものなんて無いでしょう。

現在の新型コロナウイルスへの対応に関することは、自分や周りの人の命に大きく関わってくる話です。いろいろな制限が課せられていますが、その中でしっかりと学校生活を送ってくれることを期待しています。